

「ひょうご SPring-8 賞」の概要

SPring-8 における様々な成果の中から、実用化・製品化につながり社会経済全般の発展に寄与することが期待される成果をあげた方々を顕彰し、SPring-8 についての社会全体における認知度を高めることを目的として平成 15 年度から「ひょうご SPring-8 賞」実施している。

1 主催者

【第 23 回 ひょうご SPring-8 賞実行委員会】

会 長	齋 藤 元 彦	兵庫県知事
委 員	畑 豊	(公財) ひょうご科学技術協会理事長
		兵庫県立大学副学長
	松 本 正 義	SPring-8利用推進協議会会長

2 対象者

SPring-8 を利用することにより、科学的・技術的な成果を創出し、産業界への技術移転や応用を含め、社会経済全体への発展に貢献した個人又はグループを対象とする。

3 審査及び選定

(1) 受賞候補者の選定

有識者で構成する「ひょうご SPring-8 賞選定部会」を設置し、技術的・専門的見地から審査・選定の上、受賞候補者を「ひょうご SPring-8 賞実行委員会」に提案する。

【第 23 回 ひょうご SPring-8 賞選定部会 委員】

部会長	雨 宮 慶 幸	公益財団法人高輝度光科学研究センター 顧問
委 員	石 川 哲 也	国立研究開発法人理化学研究所 放射光科学研究センター センター長
	井 上 哲 也	公益財団法人高輝度光科学研究センター 常務理事
	川 崎 真 一	一般財団法人大阪科学技術センター 常務理事
	原 田 哲 男	兵庫県立大学高度産業科学技術研究所 所長

(2) 対象となる功績

以下の①、②の両方を満たす成果とする。

- ① おおむね 5 年以内に SPring-8 を利用して得られた成果
- ② 実用化・製品化につながった成果又は数年以内に実用化・製品化されることが見込まれる成果

4 第 23 回（令和 8 年度）受賞者

受賞者：兵庫県立農林水産技術総合センター 農業技術センター

受賞テーマ：「地球温暖化に強い、兵庫県産おいしい米の新品種の優位性証明」